

## 6 コンサルティング活動

## □ 産業振興分野

### コーディネート活動ネットワーク

事業コンサルティングの対応に必要なコーディネート力の強化に向け、コーディネーター間のネットワーク作りに参画した。これらの活動概要を報告する。

#### ■全国コーディネート活動ネットワーク「全国会議」

文部科学省主催「全国コーディネート活動ネットワーク」事業は県内等に限られていたコーディネーターの連携チャネルを、県外、全国まで拡大強化し、産学連携活動をより効果的に成果に結び付けることをねらいとした事業である。本年度のテーマは『グローバルイノベーションで未来を拓く』、300人以上の参加者があり、大学関係者が44%、企業が14%、あと官公庁、知財関係者が出席した。文部科学省施策説明、経済産業省施策説明の後、日経BP特命編集委員宮田満氏による基調講演『新段階を迎えた産学官連携～鍵を握るコンダクター人材～』は、調整型のマッチング、コーディネーション人材から、より創造型のコンダクター、プロデュース人材への変換が求められているとの認識が示された。慶應義塾大学大学院 前野隆司教授による特別講演『イノベーション・協創と人材育成』とワークショップが行われた。



#### ■国立大学法人共同研究センター長等会議

第25回国立大学法人共同研究センター長等会議に出席し、各大学の共同研究センターや社会連携センター等のコーディネーターとの情報・意見交換を行った。

大学の産学連携・社会連携を推進する役割を担う共同研究センター等の機能を再確認することを目的として分科会が企画された。「分科会A: 共同研究センター等のマネジメント」では、共同研究センター等の課題を改めて抽出・集約し、各大学で実施された工夫を共有することで、マネジメントに関する今後のビジョンを描くことを狙いとした。「分科会B: 地域と大学のコミュニケーション戦略」では、地域と大学との関係性を連携体制と人的ネットワークの観点から議論を深め、地域とのつながりを深めるために必要なヒントを得ることを狙いとした。分科会B「地域と大学のコミュニケーション戦略」において、滋賀大学社会連携研究センター山本卓特任教授が「伝統工芸産業の活性化の取り組み」の題目で講演発表を行った。地場の伝統工芸産業活性化に向けた、海外事業展開支援、新商品コンセプト創出に向けたネットワーク構築、研究会活動を紹介した。

(文責 特任教授 山本 卓)

